

令和4年12月6日

蕨市立小・中学校保護者 様

蕨市教育委員会

マスクの着脱に係る学校での対応について（お知らせ）

日頃より新型コロナウイルス感染症の拡大防止にご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。

今冬季に向けて引き続き、活動場所や活動場面に応じたメリハリのあるマスクの着脱を行うようにいたします。

また、様々な理由によりマスクを着用できない又は外せないお子様もおります。そのことも踏まえ、今後の小・中学校における学校生活におけるマスクの着脱に関する留意点を下記のとおりまとめましたので、ご理解、ご協力のほど、よろしく願いいたします。

記

- 1 お子様及び保護者の皆様に対し、マスクを着用すること、着用しないことは、ともに強制するものではありません。
- 2 学校において、マスクを着用できない又は外せないお子様については、そのお子様及び保護者様の意向を確認し、校内で共通理解を図ります。
- 3 お子様に対し、発達段階に応じた適切な指導を行います。マスクを着用できないこと又は外せないことについて、相互に理解し合えるように努めます。
- 4 マスクを着用できないこと又は外せないことに対する偏見を持たないなど、子供たちがお互いの人権に十分配慮できるよう必要な指導を行います。別添のリーフレットもご参照ください。
- 5 不安を抱えるお子様については、スクールカウンセラーやさわやか相談員等への相談もできますので、悩みを抱えている場合はご相談ください。
また、下記ホームページや相談窓口もございます。

○ 困ったときの相談窓口

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e2201/kyouikusoudan.html>

○ 埼玉県内の学校に通う児童生徒の皆さんへ～困ったり悩んだりしたら誰かに相談しよう～

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2209/ijimehutoukousoudan/ijimehutoukokousoudanmadoguti.html>

- 6 給食の時間において、座席配置の工夫や適切な換気の確保等の措置を講じた上で、会話を行うことも可能です。各学校の教室の大きさや人数、感染状況等を踏まえて適切に対応いたします。



マスクをつけている人も マスクをつけていない人も

いろいろな理由で、

マスクをつけられない人やマスクをはずせない人がいます。

ひとりひとりの考えを尊重して、まわりの人にやさしくすることも大切です。

マスクでの差別をしないこともコロナ対策のひとつです。

もしかしたら…

あたまがいたくなる、
肌があかくなる・
かゆくなるなど
体にトラブルが
起きる

ちやくよう りゆう
マスクが着用できない理由

コロナに感染すると、
他の人よりも
もっと体調が
悪くなる家族と
いっしょに住んでいる。

はず りゆう
マスクが外せない理由

○活動する場所や場面ではメリハリのあるマスクの着脱を！

- ・マスクをつけることは、基本的な感染症対策のひとつです。
- ・十分にはなれている場合には、原則マスクは不要です。
- ・登下校のときや体育の授業中はマスクをはずしましょう。



○引き続き、基本的な感染症対策の徹底を！

- ・熱がでたり、のどがいたいなど体調がわるいときは、登校や行事への参加はやめましょう。
- ・マスクをしていないときには、大きな声で会話をせず、せきエチケットを心がけましょう。



よい子の電話教育相談(毎日24時間受付)

<子供専用> ☎ #7300 ☎ 0120-86-3192 <保護者専用> ☎ 048-556-0874

<子供・保護者共通> Eメール: soudan@spec.ed.jp

※Eメール相談の受信確認及び返信: (月~金(祝・12/29~1/3除く)/午前9時~午後5時)

マスクの着脱、 メリハリつけて



学校では、季節を問わず、登下校時や体育の授業などの運動時はマスクを外すこととしています。

場面に応じて、適切にマスクを着脱しましょう。

登下校



人と人の距離を十分にとり、
会話を控えて、マスクを外す
(公共交通機関やスクールバスを利用する
場合はマスク着用)

マスクを外す

体育の授業や 運動部活動



運動中はマスクを外す

マスクを外す

【屋外】

・距離が確保できる
・距離が確保できないが、
会話をほとんど行わない

マスクを要

【屋内】

距離が確保できる
& 会話なし

マスクを要

- 自然観察・写活動など
屋外の教育活動

- 離れて行う運動や移動

- 鬼ごっこなど
密にならない外遊び



- 個人で行う読書や
調べたり考えたりする学習



マスクを外すときは…

マスクを着用しない場合であっても、規則正しい生活習慣、健康観察の徹底、手洗い、
「密」の回避等の基本的な感染対策を継続しましょう。

